

進んでかかわり 自ら学ぶ 子どもの育成
～探究的な学習を充実させる指導の工夫～

1 設定理由

総合的な学習の時間では、学習指導要領において「探究的な学習」「協同的な学習」などがキーワードとしてあげられている。また、今日求められている問題解決型の学習の場として、一層重要な時間となっている。

本校の学校教育目標は、「自ら学び、心豊かでたくましく生きる児童の育成」である。学習指導においては「楽しい授業」「わかる授業」「身に付く授業」の実践により、「自ら学習し、共に高め合える子」を目指している。

そこで、本校の学校教育目標の具現化に向け、「児童が主体的にかかわり課題追究に意欲的に取り組めるような教育活動の場面設定をすること」、「児童が目的をもって粘り強く活動できるよう支援のあり方を工夫すること」を重点に授業改善を行うことが重要と考え、本主題を設定した。

2 研究仮説

児童の思いや願いを大切にしたい単元開発や単元構成をしたり、協同的な活動を取り入れた授業づくりをしたりすれば、探究的意識が養われ、主体的に課題に取り組み、解決しようとする子に育つだろう。

3 研究内容

- (1) 主体的に探究できる単元の開発や、単元構成の工夫をする。
- (2) 探究的な学習を深める授業づくりをする。

4 結 論

- 単元に入る前は、町の良さを多くの人に知らせたいという思いや必要感をあまりもてずにいた子どもたちであったが、「町をPRする動画を作る」といった活動を提案することで、興味・関心を惹きつけることができた。また、それぞれの活動が進むに従って、大変快く協力してくださる町の人々の温かさに触れ、改めて「ひと」の良さに気付いたという声が多くの子から挙がっていた。
- 自分たちの作った動画を見てもらうことをゴールに設定したときに、これまで経験したような「自分たちが知りたいことを知るために取材する」というよりも、第三者的な見方、とらえ方を想定して内容を考えなければならない必要性に気付くことができた。また、「計画・取材・振り返り」のプロセスを繰り返していく過程を組んだことで、いろいろな角度から考えてより良いものにしようとする話し合いを重ねることができた。

1 研究主題 進んでかかわり 自ら学ぶ 子どもの育成
～探究的な学習を充実させる指導の工夫～

2 主題設定の理由

(1) 教育の今日的課題、そして学習指導要領から

「知識基盤社会」といわれる今日においては、児童が獲得し身に付けた知識や技能を、生活の中でこれまで経験したことのない問題に出会ったとき、適切に使いこなせるかどうか問われる。知識や技能が身に付いたかだけでなく、どのように身に付けていくか、そして活用できるように獲得していくかが大事である。児童がより主体的に自分の思いや願いを実現したり、生活の中の問題を解決したりしていく学習が求められている。その意味からも、今日求められる学力は、総合的な学習の時間で育成しようとする学力と一致する。

この領域は、学習指導要領において「探究的な学習」「協同的な学習」などがキーワードとしてあげられている。また、今日求められている問題解決型の学習の場として、一層重要な時間となっている。探究的な学習を充実させ、「主体的に問題に取り組む態度や解決する力」を育てる授業の改善を図ることは、教育の今日的な課題の解決に向けて、大変有意義なことであると考えます。

(2) 学校教育目標及び児童の実態から

本校の学校教育目標は、「自ら学び、心豊かでたくましく生きる児童の育成」である。学習指導においては「楽しい授業」「わかる授業」「身に付く授業」の実践により、「自ら学習し、共に高め合える子」を目指している。

本校の児童は、全体的に明るく素直である。学年の枠をこえて積極的に交流し、上学年の児童を慕う姿や、下学年の児童をいたわる姿がよく見られる。学習面においても、知的好奇心が強く、授業に興味をもって取り組み、与えられた課題にはしっかりと取り組むことができている。しかし、自ら課題を見付け、主体的に問題解決に取り組んだり、与えられた知識や技能を実生活でも適切に活用していったりすることは、まだ苦手という児童が少なくない。

そこで、本校の学校教育目標の具現化に向け、「児童が主体的にかかわり課題追究に意欲的に取り組めるような教育活動の場面設定をすること」、「児童が目的をもって粘り強く活動できるよう支援のあり方を工夫すること」を重点に授業改善を行うことが重要と考える。

以上のことから、本主題を設定した。

3 目指す児童像と育てたい力

本校の主題にある「進んでかかわり、自ら学ぶ子ども」の姿を、次のように考えている。

○くり返しかかわり、没頭する子



・学習対象に繰り返しかかわり、自分の考えを広げたり深めたりする姿
(進んでかかわり、自分の考えを再構築する力)

○試行錯誤し、探究する子



・探究的な学びを楽しみ、課題の解決に向けて主体的に学ぶ姿
(課題を見付け、自ら探究し、問題を解決する力)

○自分の成長を実感し、自分に自信がもてる子



・学習を振り返り、学んだことを自分や地域でのかかわりの中で生かす姿
(自己の成長を実感し、学習対象<地域>に貢献する力)

4 研究のねらい

総合的な学習の時間において、探究的な学習を充実させる指導の工夫を、実践を通して明らかにする。

5 研究仮説

児童の思いや願いを大切にした単元開発や単元構成をしたり、協同的な活動を取り入れた授業づくりをしたりすれば、探究的意識が養われ、主体的に課題に取り組み、解決しようとする子に育つだろう。

6 研究内容

(1) 主体的に探究できる単元の開発や、単元構成の工夫をする。

ア 児童の興味・関心や教員の願いを考慮し、地域とのつながりを感じ取ることのできる学習対象を明確にした単元開発

イ 探究が連続するような単元構成の工夫

ウ 課題の設定において、児童自らが追究したいという思いがもてる導入の工夫

(2) 探究的な学習を深める授業づくりをする。

ア 児童の実態や学習過程の場面に応じた学習形態の工夫

イ 協同的な学習活動の取り組み

ウ 情報や友だちの考えの共有化

7 研究の実際

(1) 単元名 わたしたちの神崎町PR大作戦 ～あど町っく神崎～

(2) 実施学級 6年(男子24名 女子15名 計39名)

(3) 実施期間 2016年11月～2017年2月

(4) 単元の目標

○ 自分たちの住んでいる神崎町に関心を持ち、「自慢の神崎町を発信しよう」という課題

を通して、進んで地域とかかわり、自分たちでできることを考え、地域に貢献しようとしている。

- 友だちや地域の人たちの意見を尊重しながら、主体的、協同的に様々な方法で調べることができる。
- 探究的な学習を通して、地域の一員として積極的にかかわり、今後の自分の生活に生かそうとする。

(5) 単元の評価規準

評価の観点	評価規準
ひと・もの・こととかかわる力	・友だちや地域の方の意見を尊重しながら、主体的に情報収集したり、意見交換したりしている。
問題を設定し解決する力	・神崎の歴史、現状に関心を持ち、課題を設定している。 ・地域の方とのかかわりを大切にし、進んで取材し、立場や考えの違う人の意見を聞き、課題解決に向けて情報収集している。
将来の展望と社会へ参画する力	・友だちや地域の方とのかかわりを通して、相手の考えや立場を理解しようとしている。 ・友だちの情報の集め方や学び方を学び、自己の考え方を振り返り、学習してきたことを自分の生活に役立てようとしている。

(6) 内容

ア 主体的に探究できる単元の開発や、単元構成の工夫をする。

(ア) 児童の興味・関心や教員の願いを考慮し、地域とのつながりを感じ取ることでできる学習対象を明確にした単元開発

<学習対象>

地域の人々や組織にかかわることのできるもの

学んだことを、自分や地域の暮らしに生かすことができるもの

地域の発展のために活動したり、憧れや感動を生み出したりできる人物

児童はこれまでに、味噌作りやサツマイモ栽培、米作りやかかし作りを体験してきた。その際には、地域の方のあたたかい協力があり、児童は、地域の方と一緒に活動したり、教えてもらったりすることを楽しさを感じてきた。また、夢・仕事びったり体験を通して、神崎町で仕事をしている人の思いも感じてきた。さらに、神崎酒蔵まつりや「発酵の里 こうざき (道の駅)」のオープンなど、神崎町が町おこしのために努力していることを、参加したり、体験したりして体で感じてきている。児童に「神崎町のことをどう思っているか」と問うと、多くの児童が「好き」と答えている。しかし、その理由にあげられるのが「自然が多い」「発酵で有名」がほとんどで、具体的な「ひと」「もの」「こと」のよさを感じている児童は少ない。「神崎町をどのようにP

Rしたらよいと思うか」の問いに対しては、「新聞やパンフレットを作って県外の人や神崎町を知らない人に紹介したい」と答えた児童がほとんどで、発信の仕方は今まで経験した方法に限られている。そこで、小学校最後のまとめとして、これまで触れてきた「ひと」「もの」「こと」について、自分たちだけが知っているのではなく、「わたしたちのふるさと 自慢の神崎町」として外へ発信したいという思いをもって、進んで地域にかかわろうとする児童になってほしいと願い、本単元を設定した。

(イ) 探究が連続するような単元構成の工夫

指導計画 (15時間)

学習過程 (時間数)	活動内容	指導上の留意点
<p>課題の設定 (4)</p> <p>主体的な課題設定ができるように、DVDを視聴して具体的なゴールの形を示したり、ゲストティーチャーを招いて話を聞いたりする活動を導入段階に設定した。</p>	<p>○テレビ番組「出沒！アド街ック天国～佐原」を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祭りは行ったことがある。 ・知らない店があった。 ・小学生に人気の公園があるんだ。 ・何回も行ったことはあるけど、知らないことも多いなあ。 <p>○ゲストティーチャーの話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「道の駅」や「酒蔵まつり」にたくさんの人が来てくれているんだ。 ・ふだん観光客を町の中で見かけることはないなあ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を紹介するテレビ番組から、身近な地域である佐原をどのように紹介しているかに焦点を当てて見るようにする。 ・神崎町のいいところをより多くの人に知ってもらうために、神崎町を紹介する番組を自分たちで作ることを大きなゴールとして、意欲をもたせる。 ・Aさんから、町の人々の努力によって、「道の駅」や「酒蔵まつり」は多くの人から注目されるようになってきたが、神崎町そのものについてはまだまだ知られていないことがたくさんある点について話を聞く。 ・もっと神崎町のいいところを自分たちから発信できないか、考えられるようにする。
	<p>○自分達が神崎町を紹介する番組作りをするとしたら、どのような事を紹介したいか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然が多い。 ・米作りがさかん。 ・「道の駅」ができ、発酵食品が注目されている。 ・酒蔵まつり ・神崎町の人優しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・神崎町の中で、多くの人に紹介したいことについて、視聴したテレビ番組の内容やゲストティーチャーの話を参考に、まずは思いつくままに出すようにする。

	<p>○神崎町をもっと多くの人に知ってもらうために、テレビ番組で紹介したいテーマを決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人 ・自然 ・米作り ・酒（発酵食品） ・祭り、イベント 他 <p>○番組をつくるために必要なグループについて話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・番組作りをすることを前提に、紹介したいテーマを選び、テーマごとにグループを作って協力できるようにする。 ・各テーマごとに取材したものを編集したり、まとめたりしていく立場のグループも作るようにする。
情報の収集 (6)	<p>○各自、取材や編集の計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○について、□□さんにインタビューする。 ・○○について、□□さん達にアンケートをとる。 ・△△の写真を撮る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各テーマに沿って、いつ、どのような方法で情報収集できそうか、具体的に考えられるようにする。 ・グループ内で取材の分担を決め、一人ひとりが責任をもって活動が進められるようにする。 ・編集グループは、番組全体のイメージをもち、各コーナーの時間配分をして、台本を作れるようにする。
	<p>○グループで決めたテーマに沿って情報収集①を行う。 (2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビュー ・アンケート ・動画、写真撮影 	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューをしたり、実演したりしているところを撮影するなど、一人では難しい場合は、グループで協力し合って収集できるようにする。 ・インタビューの手順を確認したり、訪問前にインタビューメモを作成したりするように助言する。 ・編集グループは、各テーマ別のコーナーに関する司会の進め方やコメンテーターのコメントなどを考え、台本作りを進める。
本時 (4/6)	<p>○集めた情報①について話し合い、取材計画を見直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真が足りない。 ・インタビューは動画の方が効果的だ。 ・アンケートの結果から現地の写真や人気がある理由も必要だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で集めた情報を出し合って、多くの人に関心をもってもらうために、取材が足りない点はないか、どのような提示方法が効果的かなどの観点で話し合い、更に必要な情報について今後の取材計画の見直しをする。 ・編集グループは各グループの話し合いに参加し、アドバイスしたり、時

① 取材計画
② 取材
③ 振り返り
を繰り返し行うことで、探究活動が連続するようにした。

		間配分を伝えたりして、効果的な取材になるようにする。
	<p>○グループで立てた計画に沿って情報収集②を行う。 (2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビデオを撮る。 ・写真を撮る。 ・アンケート結果についてさらにインタビューする。 <p>○台本に沿って、司会、コメンテーターのやり取りを撮影する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集①から出た疑問や効果的に提示するための材料を更に取材できるようにする。 ・町の人や場所に関しては、撮影の許可を得てから行うよう指導する。 ・編集グループは、台本に沿って、各コーナーをつなぐ部分を撮影する。
整理・分析 (4)	<p>○集めた情報を整理して、番組にするために編集する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提示するための写真を選ぶ。 ・写真や動画を編集する。 ・アナウンスのせりふを考えて当てはめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・映像編集ソフトを活用して、集めた情報を整理して、決められた時間内に効果的に紹介できるよう工夫させる。 ・編集グループはタイトルやコメンテーターのやり取りなどを工夫して、一つの番組に作り上げていくようにする。
まとめ・表現 (1)	<p>○出来上がった番組を視聴し、感想を話し合う。</p> <p>※「道の駅」で流してもらう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分達がイメージしたものができたか、伝えたい内容が伝わっているか、振り返るとともに、友だちのよさを認め合えるようにする。

(ウ) 課題の設定において、児童自らが追究したいという思いがもてる導入の工夫

○ 様々な地域での活動を通して、児童は神崎町の良さは十分感じている。それでも、その良さを多くの人に知ってもらいたいという気持ちをもっている児童が少ないことが、実態調査からわかった。そこで、児童の興味・関心の高い動画の作成に挑戦させてみることにした。「神崎町を紹介するVTRを作成して、道の駅で放映してもらおう」と呼びかけると、児童の意欲が高まり、「何を紹介しよう」「あまり知られていないものがいいかな」など、アイデアが出始めた。

○ VTR作成に先立ち、児童全員がゴールのイメージを具体的にもてるように、テレビ番組の「アド街ック天国」を視聴した。児童もよく知っている佐原を紹介する回であったため、見てもイメージしやすかった。内容としては、番組を参考にして、名所、建造物、店舗、名物、特徴、風土、自然、人物などをランキング形式で紹介す

る構成にした。観光目的の紹介ではなく、日常目線、地元目線、子ども目線での取り上げ方にすることで、町おこしとして発信している神崎町との「ずれ」や「新しい発見」を感じさせながら、課題意識を高めたいと考えた。

イ 探究的な学習を深める授業づくりをする。

(ア) 児童の実態や学習過程の場面に応じた学習形態の工夫

- これまでの総合学習では、児童一人ひとりが一つのテーマに対する課題をもち、情報収集や体験活動などを通して探究していく形態が主であった。それを今回は、みんなで一つの番組を作るというゴールを設定したので、実際に取材をして情報を収集する活動と、情報を編集して構成する活動が必要になった。そこで、児童を大きく「取材グループ」と「編集構成グループ」に分け、更に取材グループは取材内容によって細かく分けていった。(写真1)

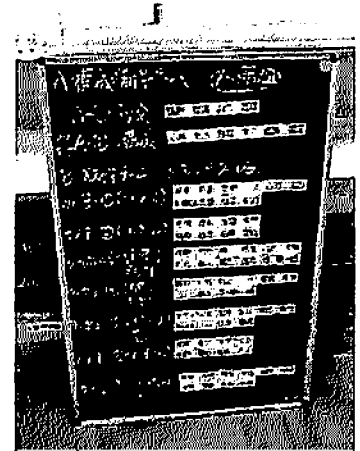


写真1 グループ編成



写真2 スタジオ収録

- 整理・分析の段階では、映像編集ソフトを活用して、各グループの中で、映像を編集する作業と、映像に合わせて説明するアナウンスを考えて当てるなどの作業を分担して行った。更に、編集構成グループを中心に、番組全体を総括するスタジオの場面も収録することにして、各グループからコメンテーターを出し、スタジオ収録も行った。(写真2)

(イ) 協同的な学習活動の取り組み

- 地域のゲストティーチャーに協力を得て、まだ広く知られていない町の「もの」「ひと」「こと」の素晴らしさを伝えてもらうことにした。

ゲストティーチャーには、神崎町の町づくり課に勤める方を招聘した。日ごろから自ら「お里ちゃん」というキャラクターに扮し、イベントを立ち上げたり、他地域に出向いて神崎町のPR活動をしたりして、神崎町の活性化に尽力している

方である。こちらの学習のねらいを伝えると、快く引き受けてくださり、ねらい通りに「町の人にもあまり知られていない神崎町唯一の喫茶店」や「役場の屋上から見える町の絶景」など、「お里ちゃん」の衣装を身に付けて話してくださった。(写真3)



写真3 お里ちゃんの授業



写真4 お里ちゃんへの取材

児童は神崎町に住んでいながら、知らなかった店舗の事や行ったことのない場所について聞き、関心を高めていった。中には紹介して下さった「お里ちゃん」自身に改めて興味をもち、取材対象として設定したグループもあった。

(写真4)

(ウ) 情報や友だちの考えの共有化

- 「神崎町を紹介するVTRを作って道の駅で放映してもらう」というゴール設定をしたときに、「立ち止まって見なくなる」「もっと知りたくなる」「VTRの場所へ行きたくなる」といった思いをもってもらえるようなVTRにするには、取材の内容の検討やVTR全体の構成を考える必要が出てくる。そのときに、児童には初めての活動

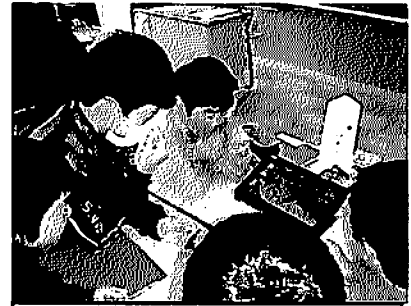


写真5 取材の振り返り

であることを踏まえ、実際の取材活動と編集会議としての話し合いを繰り返し設定し、よりよいものをめざせるようにした。(写真5)



写真6 思考ツールを活用した話し合い

- 振り返りの話し合いには、思考ツールを活用し、実際に取材した内容とイメージした計画が一致しているか、改善点や不足している点はどこか、追加取材は何が必要かなど、話し合う観点を明確にして、付箋を貼りながら整理できるようにした。(写真6)

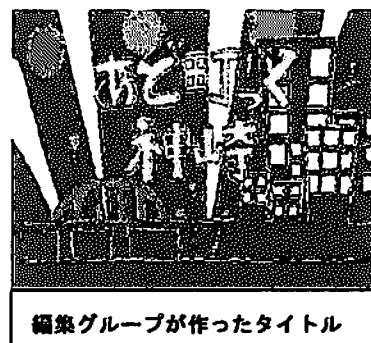
- 「編集構成グループ」の活動は、番組全体の構成を考え、各取材グループへヒアリングして重なりや不足している情報、時間配分などを考えることである。更に、タイトル作りや各グループをつなぐ部分的効果的な方法など、それぞれがばらばらに作ったものを一つの番組に構成する部分を担当する。グループ内での話し合いやアイデアを出し合うことが主になる前半の活動では、少人数でもそれぞれが自分の意見をもち、活発にアイデアを出し合うことができた。また、番組全体を見通しているグループであるため、各取材グループをまとめる役割も果たすことができた。(写真7)



写真7 編集グループの話し合い

8 成果と課題

- 単元に入る前は、町の良さを多くの人に知らせたいという思いや必要感をあまりもてずにいた子どもたちであったが、「町をPRする動画を作る」といった活動を提案することで、興味・関心を惹きつけることができた。また、それぞれの活動が進むに従って、大変快く協力してくださる町の人々の温かさに触れ、改めて「ひと」の良さに気付いたという声が多くの子から挙がっていた。町の多くの方の協力を得なければ出来上がらないものであることを実感し、「ぜひ良い番組を作って、町の人々に見てもらいたい」という思いが強くなっていった。
- 自分たちの作った動画を見てもらうことをゴールに設定したときに、これまで経験したような「自分たちが知りたいことを知るために取材する」というよりも、第三者的な見方、とらえ方を想定して内容を考えなければならない必要性に気付くことができた。また、「計画・取材・振り返り」のプロセスを繰り返していく過程を組んだことで、いろいろな角度から考えてより良いものにしようとする話し合いを重ねることができた。
- ゴールのイメージを共有し、探究活動の連続性を重視したことで、児童は自分たちのやるべきことを見通しながら、主体的に活動することができた。指導者は児童の要求に対しての時間と人材、機器の確保や連絡調整が主な仕事であった。
- 取材活動に加えて、動画を撮って編集するという活動は、これまでの学習経験をフルに活用すると同時に、映像の編集ソフトを使うという新しい技能も加わり、最終学年としてやりがいのあるものになった。この経験は、情報化社会に生きる子どもたちにおいて、今後、大きな自信と挑戦への意欲につながっていくことと考える。
- 完成したDVDは、協力を得た町の方に見てもらったり、道の駅のモニターで放映してもらったりした。「酒蔵まつり」の時に放映しようという話もあったが、かなり多数の来場者が予想されたため、個人情報に配慮して取りやめた。道の駅での放映もレジ前の係の方の目の届くところで、1か月間の期間限定で流すことになった。多くの方の反響も知りたいところだが、映像記録としての扱いは難しいと感じた。
- 各グループの取材は主にタブレットを使って行ったが、映像技術が未熟なため、映像が乱れたり、音声が入らなかつたりして、苦労した。子どもたちの思いと、技能が一致するにはかなりの練習が必要である。



第24分科会
総合的な学習の時間

資料編

大好きな神崎町をみんなにPRプロジェクト

自分たちが生まれ育った神崎町。そんな神崎町を「みんなに知ってもらいたい」「もっともっとたくさん人に来てもらいたい」「未来の神崎町をもっと大きくしたい」…そんな思いから神崎小6年生として取り組む大プロジェクトがいよいよスタート！まずはいつものようにテーマづくり！

1 テーマ

みんなに広めよう！ 未来の神崎のために
～あと町っく神崎 PR大作戦～

2 分担構想

今まで自分たちが暮らす神崎町について、たくさん学習をしてきた。こんなすばらしい神崎町をみんなに広めたいという思いを実現するために取り組む今回のプロジェクト。いかに知ってもらおうかみんなでお考え、PR番組作りに挑戦！題して「あと町っく神崎 PR大作戦」さあ、いよいよ具体的に取り組んでいくよ。
アトラキニグ「10」+「バス」コレクション

A 構成編集チーム

A-①司会 (2名)

A-②構成 (2名)

B 取材チーム※コメンテーター 1名、取材資料作り 4名(1レターも1名)

B-①チーム (5名) *こどもバス*

B-②チーム (5名) *コレクション*

B-③チーム (5名) *景色(場所)*

B-④チーム (5名) *馬車(建物)*

B-⑤チーム (5名) *ゆうゆう(店)*

B-⑥チーム (5名) *お里らん(人)*

B-⑦プチ紹介チーム (5名)

各コメンテーター 20+レター(11-7-)

11-7-)

PRしたいこと

- | | | | |
|---------|--------|-------|------|
| お里らん? | 道の駅 | お米・火田 | 田んぼい |
| 景色(場所) | 馬車(建物) | 点灯式 | 夜空 |
| ゆうゆう(店) | 商店街 | | |
| 特産品 | 金曜夕市 | | |
| 自然 | 菜種田 | | |
| お寺 | | | |

みんなに広めよう！ 未来の神崎のために

～あと町っく神崎 PR大作戦～

「あと町っく神崎」みんなですてきな番組を作ろう！…でも、やらなければならないことはたくさんあります。見通しをもって取り組もう。

学習の見通し

月 日	内容	進み具合 (◎○△)	ひとこと反省
11月 4日(金)	神崎町をPRしよう VTR視聴&テーマ決定	○	VTRを見て、こんな感じにするのかと分かった。
11月 7日(月)	ゲストティーチャーの話を聞こう	○	澤田さんの言葉を聞いた。早くPRしたいな。
11月 8日(火)	紹介したいことを話し合おう	○	
11月 9日(水)	取材内容&グループを決めよう	○	グループが決まった。ゆうゆうた。
11月10日(木)	取材計画を立てよう	○	なにを聞くのか、映像をとりぬか、決めた。カメラ係になった。
11月14日(月)	取材に行こう①	○	映像がビミョーだった。このコマを撮った。
11月15日(火)	取材計画を見直そう		
	取材に行こう② ※必要に応じて		
	集めた情報を整理して番組を作ろう		
	取材内容の編集 ナレーション録音 スタジオ収録リハ		
	スタジオ収録本番 など		
	あと町っく神崎 番組完成！		

イメージ通りじゃないこと
がわかった。

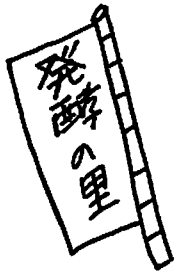
番組が完成したら、いろんな人に見てもらおう！

発酵の里ニうぎきの

2016.11.7
神崎小学校

宝さがし

自分たちの目線で発見!! 神崎は宝の山だった!?



人物

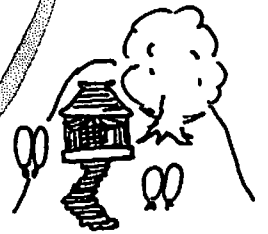
キラリ人
家族から
見直してみよう

お店

かくれた名店!?
知らなかった
メニュー・商品
見つけてみよう!

特産品

お酒! おみや!
新しい物も
あるかも!?



『千葉県で一番小さな町』

神崎町って!?

H28.10※

人口 6,274人

世帯数 2,421世帯

面積 19.90km²

町の東西 5.7km

南北 6.2km

東京から約60km

町の木 たんじょうもんじょう

町の鳥 めじろ

町の花 バラ



一番小さいって何が!?

建造物

神社やお寺が
いっぱい!!
神崎の民話を
読んでみよう

名所

神崎町は
絶景スポットの
宝箱!!

・宝って古いものだけじゃないよ
新しいものの中にも あるよ!!



・目立たないけど... ステキな人・物
みんなの目線から 掘り起こしてみよう!!

自然風土

自然豊かな神崎町
なつかしいあの場所へ
行ってみよう!
ほっとする美しさを発見!!

今日はあ...がどう...ました。

6年 2組

神崎町PRプロジェクト No.メモ

スペシャルゲストティーチャー 潤田さんのお話

(メモ)

PRは町にとっても重要!

人口6274人

イラストでわかりやすく!

商店街(神崎×仁通)はふたん入が全くない!

だけど...年に1度5万人集まる行事が...酒とら祭り

通行止めにするのは大変! がんばっている! (通行止めにするために)

神崎町にはきき店が7つ!

やうやう

絶景スポット 9400m
園土 いろいろな自然も新しい発見があるかも!

町の特産品

お酒

金舞夕舟 だれがはじめての?

お酒のくし

とびおしい

菜種油 特産品になりつつある!

神崎町には7つ! (半径500mの間に)

味産のよいところ

きおけは、今から130年前にできた!

すてきなどころ

調べてみる?

町人のくしは、東京の人!

朝会からくる人は、夜カエルがなっているのか?!

ついでにみよ!

神崎町すてきさがし!

神崎観光大使! たと思て、がんばる。

神崎町には空き家がいっぱい! 3社を利用して、お祭りをする人も!

自分が楽しく、すてきさがし

夜暗いから、星がきれい!

神崎町には、お店が少ない! お店が少ない! でも神崎の魅力を発信して、観光客を呼び込む!

同じ事実でも、私たちがどう伝えるか?!

みんなに広めよう！ 未来の神崎のために

～あど町っく神崎 PR大作戦～

6年組

大テーマが決まって、取材グループも決まったところで、さっそく取材に出かけよう！どこに行って何を
 するのか、町の人たちに協力してもらいたいこともあるよね。気持ち良く協力してもらうために、しっかり
 計画を立てて行こう。

取材計画

※リーダーのものは先生に提出（コピーします）

メンバー ◎リーダー ☆コメンテーター	◎ ☆
取材すること	プロ紹介
いつ	11日、14日、11日
どこへ行って	道の駅 さかくさ 三ヶ日市田んぼ
どんなこと 例 どんな写真 映像 インタビュー内容 など	道の駅の売り 茶種油のいいところ どのように茶種油を打取る 茶種油のこと 道の駅を矢張りしていいか 道の駅のイメージは 茶種油のイメージは
担当者 例 カメラマン インタビュアー 記録	カメラマン インタビュアー 記録
必要なもの	

お里ちゃん 質問へ

・ネット
・メール
・動画

情報ノート 版

月 日 ()

お里ちゃんへ質問

○ 実際に行っているところはどこですか？

- 佐野市
- 香取市
- 酒粕町
- とちぎ県
- やいた市
- 山形市
- 山梨県
- 甲府市

× 未来のネ申山崎町はどうなっているでしょうか？
このようなネ申山崎町にしたいですか？



× さかぐらはなぜ昔々だったのですか？

ネ申山崎がおいしい
米づいがかさかんた
お酒になるスプーンがあったから。

酒蔵がもつた。

○ ぶくそう
たすき

○ なぜお里さんになったのですか？

なんしーのお世話
なんしーも人をヒーローにしたいときみんなが喜んでくれたよ
いいなと涙 (町おすめの格好になった。

○ PRをしているとき、気をつけることはありますか？

ベストスリー

1. 笑顔
2. 丁寧

3. 元気な声で話
4. 丁寧なお話

5. お里ちゃんのお話を聞いて
勇気やうたえよう元気がわいて
元気なお話

なにをイメージ？

氏名

★あじろ町、く神崎★ ★ランキニク★

1位 絶景

2位 こぞバス

3位 お里さん

4位 酒蔵祭り

5位 駅

6位 田んぼ

7位 コレクション

8位 道の駅

9位 夕市

10位 ゆうゆう



よく見て覚えてね!

編集チムよ

<DVD 配付時に保護者に同封した文書>

保護者の皆様

先日の PTA 集会の御参加ありがとうございました。

「みんなに広めよう！未来の神崎のために～あど町っく神崎 PR 大作戦～」をテーマに 11 月よりスタートした PR 番組作りですが、ついに完成を迎えました。取材、ナレーション、編集と子どもたちが大好きな神崎町を「多くの人に知ってもらいたい」「たくさんの人に来てもらいたい」と願い、自分たちの手で作り上げました。ぜひ、御家族でご覧ください。

また、道の駅の皆様の御理解、御協力により、以下の日程で道の駅「発酵館」モニターで上映されることとなりました。ぜひ、道の駅に足を運び、ご覧いただければと思います。

☆上映期間 平成 29 年 3 月 10 日～5 月 7 日

☆上映時間 1 時間に 1 回くらいの間隔 ※他の映像もあるため

☆上映場所 神崎道の駅「発酵館」レジ上モニター

※道の駅の方の御配慮により、子どもたちの卒業の日 3 月 17 日（金）

は 1 日「あど町っく神崎」のみ上映